

平成 28 年 1 月 20 日

## 投票結果集計

水素インフラ規格基準委員会

一般財団法人石油エネルギー技術センター  
自動車・新燃料部

### 1. 投票議案名

「圧縮水素運送自動車用附属品の技術基準（案）JPEC-S 0006(2015)の承認

### 2. 提案資料

「圧縮水素運送自動車用附属品の技術基準（案）JPEC-S 0006(2015)の制定案

### 3. 投票締切日 平成 28 年 1 月 8 日(金)

### 4. 投票結果

#### 4.1 集計結果 可決

#### 4.2 集計内訳 賛成 9 票、コメント付賛成 1 票

#### 4.3 コメント内容と事務局(JPEC)の対応

委員) バルブ類の定義がバルブ及び緊急遮断装置の総称であることが理解できるのか？  
できないのであれば、用語の定義に追記願いたい。

事務局) 技術基準で初めて“バルブ等”の文言が使用される、11 条(設計確認試験におけるバルブ等の気密試験)冒頭に「バルブ及び緊急遮断装置(以下「バルブ等」という。)」～のただし書きを入れ定義しています。法令文書の標準的記載方法なので、原案通りといたします。

委員) ①バルブ類の耐塩化物腐食試験(第 13 条第 2 項第 1 号ロ)に定義されている塩水は重量比 5%の塩化ナトリウム水溶液と記載されているが、中性との想定なのか？

②安全弁では酸性・アルカリ性の塩水噴霧が条件として記載されている。バルブ類が晒される環境の想定がどのようになっているのか？

事務局) ①pH の規定はなく中性を想定しています。(HFCV-gtr の原文は The saline solution consists of 5 per cent sodium chloride and 95 per cent distilled water ,by weight.)

②以下の理由により HFCV-gtr で安全弁は酸性とアルカリ性の塩水噴霧というバルブ類より厳しい試験を課していると考えられます。

(i)バルブはインタンクバルブが主流で腐食物質に暴露されにくいこと。

(ii)溶栓式安全弁の場合、溶栓は亜鉛、インジウム、ガリウム、スズ、ビスマス、鉛などを主成分とした合金で、酸性、アルカリ性物質による腐食を受けやすいこと。

JPEC-S0006 においても原案通り HFCV-gtr 同様の規定とすることで、FCV 用に製造した附属品をトレーラー用に転用することが容易になり、安全を担保しつつ設計確認試験の簡略化に寄与できるものと考えています。

以 上